



平成 29 年度 ディスカバー農山漁村の宝 受賞 【地方版】

おおどおり むく さと
大道理夢求の里交流館 (周南市)



デザイン専門学生が考案したロゴマーク

内閣官房および農林水産省は、「ディスカバー農山漁村の宝」において、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定している。

この地方版として、中国四国農政局では農山漁村の持つ豊かな自然や農海産物など、埋もれていた資源の活用を行うことにより、都市農村交流、6次産業化、移住・定住の推進など農林水産業や地域の活力創造に繋がる取組について応募のあった172地区の中から、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として「大道理夢求の里交流館」ほか16地区を選定した。この認定証の授与式が12月4日に同館で行われた。

周南市大道理地区では、ほ場整備を実施した棚田法面にシバザクラ約10万本を植え、毎年4月～5月に「芝桜まつり」を開催。例年約5万人の観光客が訪れることで地域活性化につながっている。

授与式では、羽地道智地方参事官が同館の中村俊道会長に選定証を手渡した。中村会長は「大道理は地域のまとまりが良く、お年寄りをはじめたくさんの方が地域活動に貢献してくれる。選定は励みになる」と話した。また、井上正幸館長は、「少子高齢化が進む地域ではあるが、更なる農業農村を守る活動を展開したい」と話してくれた。

ディスカバー農山漁村の宝（地方版）は、優れた活動を行う地区を広く発信しようと中国四国農政局が初めて実施。山口県内からは14地区の応募があり、大道理地区が唯一選ばれた。期間は1年で、同館はオリジナルロゴマークを使い、同局のホームページなどで活動をPRする。



選定証を受け取る中村俊道会長



意見交換をする井上正幸館長（左前）



■ 過去の受賞歴

- 平成 25 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞（向道環境保全会）
- 平成 27 年度 山口県農村振興賞（大道理百笑倶楽部）
- 平成 27 年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長最優秀賞（向道環境保全会）
- 平成 28 年度 地域再生大賞優秀賞（大道理百笑倶楽部）



おおどおり
周南市大道理地区の多様な活動

新たなコミュニティづくりに向けて

パワースポット (周南市章)



夢求の里交流館



鹿野地集落の全景



シバザクラ植栽



シバザクラ防草シート敷設



シバザクラ草取り



シバザクラ苗づくり



ナベヅルのモチーフ



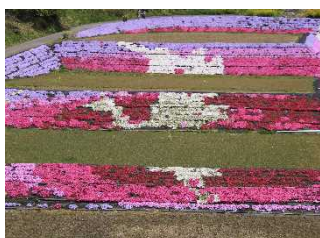
マンガ塾生バザー



シバザクラデザイン選考会



中学生の民泊



ホテル観賞のタベ



ほたる工房



もやい便 (生活交通)



里の案内人 (移住者サポート)



高齢者サロン



便利屋業 (なんでもお助け隊)



東京の高校生民泊



かわら版 むくろじ



移住してきたマンガ塾生たち



コンニャクづくり



フォトコンテスト優秀作品



ほたる工房 (満開べんとう)

